調査結果の詳細分析(抜粋)

1 健康に関する意識と行動,対象者に関する健康・福祉の状況

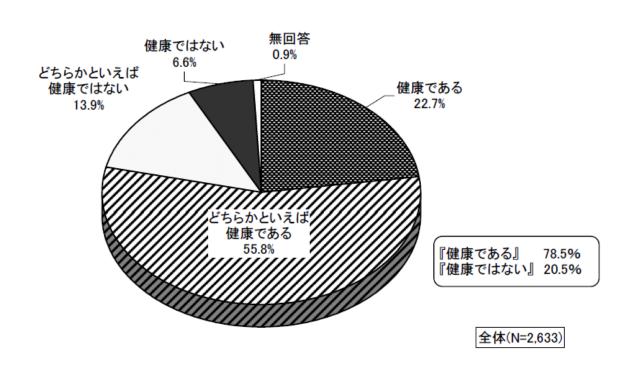
(1)健康に関する意識

問 6 . 日ごろ , 健康であると感じていますか。あてはまるものを 1 つ選び , 番号に をつけてください。

日ごろ,健康であると感じているかどうかきいたところ,「健康である」と答えた人の割合は22.7%,「どちらかといえば健康である」は55.8%で,『健康である』(=「健康である」+「どちらかといえば健康である」)人の割合は78.5%と,全体の7割を超えている。

一方,「健康ではない」は6.6%,「どちらかといえば健康ではない」は13.9%で,『健康ではない』(=「健康ではない」+「どちらかといえば健康ではない」) 人の割合は20.5%となっている。

図表 健康に関する意識【全体】



性別にみると、『健康である』人の割合は男性が75.1%,女性が80.9%となっており、若干ではあるが女性が男性を上回っている。

性・年代別にみると,男性,女性ともに70歳以上が他の年代を10ポイント以上下回っており,『健康でない』が約4割いる点が特徴的である。

図表 健康に関する意識【性・年代別】 健康ではな でいどあえち 健康である はえち 観慮で 健康で るばら なばら 健か康と い健か ない ある 凡例 全体(N=2,633) 78.5 20.5 22.7 13.9 6.6 0.9 男性計(n=1,044) 7.0 75.1 24.0 1.0 17.0 6.6 0.9 20代(n=106) 17.9 74.5 24.5 30代(n=158) 5.7 13.9 24.7 40代(n=186) 19.9 14.0 5.9 2.2 78.0 19.9 2.9 1.5 50ft(n=205) 18.5 77.1 21.4 60代(n=204) 6.4 0.5 74.5 25.0 70歳以上(n=175) 14.9 38.9 女性計(n=1,539) 24.2 12.0 6.2 0.8 80.9 18.2 20ft(n=185) 37.3 95.1 4.9 3.8 34.0 6.9 🕡 0.3 30ft(n=291) 8.6 40ft(n=242) 12.4 2.91.2 83.5 15.3 12.3 5.1 0.7 17.4 50ft(n=277) 81.9 5.6 0.4 60代(n=269) 14.5 79.5 20.1 70歳以上(n=268) 19.4 2.2 57.9 39.9 80% 1005

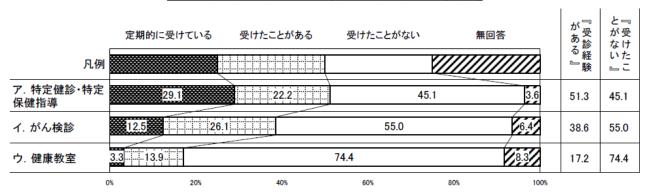
(2)過去5年間における健康診断などの受診状況

問4.あなたは,過去5年間に,以下のアからウまでの健康診断などを受けたことがありますか。あてはまるものを選び,番号に をつけてください。

過去5年間における健康診断等への受診状況をみてみると,「定期的に受けている」と答えた人の割合は,特定健診・特定保健指導(メタボ健診)が29.1%,がん検診は12.5%,健康教室は3.3%となっている。

また,『受診経験がある』(=「定期的に受けている」+「受けたことがある」) 人の割合は,特定健診・特定保健指導(メタボ健診)が51.3%,がん検診は38.6%, 健康教室は17.2%となっている。

図表 過去5年間における健康診断等の受診状況【全体】



(N=2,633)

性別にみると,『受診経験がある』人の割合は,「ア.特定健診・特定保健指導(メタボ健診)」は男性が57.6%,女性は46.6%,「イ.がん検診」は男性が28.4%,女性は45.2%,「ウ.健康教室」は男性が16.6%,女性は17.9%となっており,「イ.がん検診」における女性の『受診経験がある』人の割合の高さが特徴的である。

性・年代別に『受診経験がある』人についてみると , 「ア . 特定健診・特定保健 指導 (メタボ健診)」について , 男性は40 代と50 代では「定期的に受けている」 人が4割以上となっている。

一方,女性は60代まで年齢が高くなるにつれ『受診経験がある』人の割合も高くなる傾向がみられる。

「イ.がん検診」について,男性は年齢が高くなるにつれ『受診経験がある』人の割合も高くなる傾向がみられる。一方,女性は50代(58.2%)まで増加傾向で,60代以降は減少に転じている。

「ウ.健康教室」について,『受診経験がある』人の割合は男性が70歳以上(29.1%),女性は60代(30.8%)が最も高くなっている。

全体的には,年代が低いほど「受けたことがない」と回答した人の割合は高い傾向がみられる。

図表 過去5年間における健康診断等の受診状況【性・年代別】

			サ	ア. 特2	定健診・ (メタオ	特定保 《健診》	健指導	1. かん快衫				ウ. 健康教室				
			ンプル数	定期的に受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答	定期的に受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答	定期的に受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答	
全		体	2633	29. 1	22. 2	45. 1	3. 6	12. 5	26. 1	55. 0	6. 4	3. 3	13. 9	74. 4	8. 3	
男	性	計	1044	36. 9	20. 7	39. 9	2. 5	10.6	17.8	64.8	6.8	4. 1	12. 5	75. 4	8. 0	
20		代	106	17. 0	15. 1	66. 0	1.9	0.9	1.9	95.3	1. 9	2. 8	4. 7	90. 6	1. 9	
30		代	158	38.0	14. 6	46.8	0.6	2. 5	5. 7	85.4	6. 3	2. 5	5. 1	86. 1	6. 3	
40		代	186	43. 5	16. 7	37. 6	2. 2	10. 2	15. 1	69. 9	4. 8	4. 3		84. 4	4. 8	
50		代	205	44. 9	22. 4	30. 7	2.0	15. 1	19.0	56. 1	9.8	5. 9	14. 6	69.3	10. 2	
60		代	204	34. 3	28. 4	36.8	0.5	13. 2	22. 1	57.8	6. 9	2. 5	17. 2	73.5	6. 9	
70	歳以	上	175	34. 3	24. 0	33. 7	8.0	16.0	35. 4	40.6	8.0	5. 7	23. 4	56.6	14. 3	
女	性	計	1539	23. 8	22. 8	49. 3	4. 2	13. 6	31.6	48. 9	5.8	2. 8		74. 1	8. 1	
20		代	185	9. 7	13. 0	76. 8	0.5	1.1	15. 1	83. 2	0. 5	1. 6		92. 4	-	
30		代	291	17. 9	15. 5	64. 6	2. 1	8. 2	28. 5	61.5	1. 7	_	6. 2	90. 7	3. 1	
40		代	242	20. 2	29. 3	49. 2	1. 2	17. 8	38.8	40.5	2. 9	0. 4	10.3	85. 1	4. 1	
50		代	277	28. 9	28. 2	40. 1	2. 9	21.7	36.5	38. 3	3. 6	4. 0	19. 9	71.8	4. 3	
60		代	269	29. 4	30. 1	36. 1	4. 5	17. 5	36. 4	38. 7	7. 4	4. 8	26. 0	57. 2	11. 9	
70	歳以	上	268	32. 5	19. 4	35. 8	12. 3	12. 7	29. 5	40. 7	17. 2	5. 2	19. 4	52. 6	22. 8	

職業別にみると、「正社員、正職員」は「ア・特定健診・特定保健指導(メタボ健診)」について『受診経験がある』人の割合が高いものの、「ウ・健康教室」は「受けたことがない」と回答した人の割合が高くなっている。「家族従業者・家事手伝い」、「常勤パートタイマー」、「専業主婦・主夫」は「イ・がん検診」について「受けたことがある」と回答した人の割合が高くなっているのが特徴的である。「契約社員・派遣社員」、「臨時雇い・アルバイト」はいずれも「受けたことがない」と回答した人の割合が高くなっている。また、「学生」も「受けたことがない」と回答した人の割合が高くなっている。なお、特定健診等については40歳以上が受診することとなっているため、「学生」の受診率は一般的な検診よりも低いと推測される。

図表 過去5年間における健康診断等の受診状況【職業別】

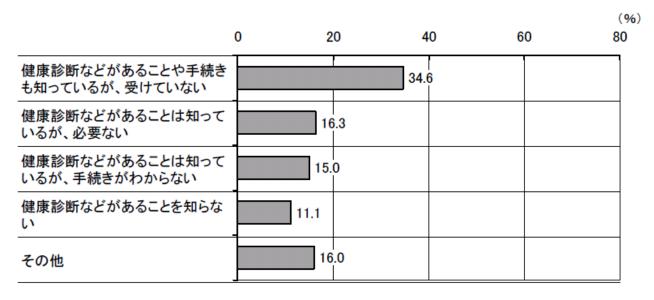
												手四	L: %0
	+	ア.特	定健診 (メタ7	・特定保 ド健診)	健指導		イ. が	ん検診			ウ. 健	康教室	
	ンプル数	定期的に受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答	定期的に受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答	定期的に受けている	受けたことがある	受けたことがない	無回答
全体	2633	29. 1	22. 2	45. 1	3. 6	12. 5	26. 1	55. 0	6. 4	3. 3	13. 9	74. 4	8. 3
自営業経営者・会社等役員	221	27. 6	22. 6	45. 7	4. 1	7. 2	29.0	57. 9	5. 9	2. 3	14. 9	76. 5	6. 3
家族従業者・家業手伝い	42	11. 9	31.0	50.0	7. 1	7. 1	42. 9	45. 2	4. 8	ı	21.4	69.0	9. 5
正社員、正職員	705		15. 6	39. 7	0.7	13. 9	17. 9	63. 5	4. 7	4. 4	9.5	80.3	5. 8
常勤パートタイマー	251	28. 7	26. 3	43. 4	1.6	16. 3	33. 9	45. 4	4. 4	0.8	15. 9	78. 1	5. 2
契約社員・派遣社員	136	28. 7	23. 5	46. 3	1.5	11.0	19. 9	66. 2	2. 9	2. 2	11.0	83.8	2. 9
臨時雇い・アルバイト	104	14. 4	27. 9	55. 8	1. 9	5.8	27. 9	59.6	6. 7	2. 9	13. 5	77. 9	5. 8
専 業 主 婦 ・ 主 夫	435	18. 9	25. 1	51.7	4. 4	15. 2	35. 4	43. 4	6.0	2. 5	15. 2	73. 1	9. 2
家事手伝い 学生	10	10.0	20.0	60.0	10.0	_	60.0	30.0	10.0	10.0	_	80.0	10.0
学 生	59	1. 7	10. 2	81. 4	6.8	_	1. 7	93. 2	5. 1	3. 4	6.8	86. 4	3. 4
無職	512	28. 3	25. 6	39.6	6. 4	12. 5	26. 8	51. 2	9.6	4. 7	18.8	63. 3	13. 3
そ の 他	22	18. 2	27. 3	50.0	4. 5	9. 1	27. 3	59. 1	4. 5	-	_	90. 9	9. 1

(3)健康診断などを受診しない理由

問4 - 1 . (問4で1つでも「受けたことがない」と回答した方へ) 健康診断などを受けない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び,番号に をつけてください。

健康診断などを受診しない理由についてきいたところ、「健康診断などがあることや手続きも知っているが、受けていない」が34.6%で最も多く、次いで「健康診断などがあることは知っているが、必要ない」(16.3%)、「健康診断などがあることは知っているが、手続きがわからない」(15.0%)、「健康診断などがあることを知らない」(11.1%)の順となっている。

図表 健康診断などを受診しない理由【全体】※複数選択



全体(n=2,128)

性別にみると,男性,女性ともに「健康診断などがあることや手続きも知っているが,受けていない」の割合が最も高くなっている。次いで男性は,「健康診断などがあることは知っているが,手続きがわからない」(17.3%),「健康診断などがあることは知っているが,必要ない」(16.7%)の順となっているが,女性は「健康診断などがあることは知っているが,必要ない」(16.1%),「健康診断などがあることは知っているが,手続きがわからない」(13.3%)の順となっている。

性・年代別にみると,男性の20代と70歳以上,女性の70歳以上で「健康診断などがあることは知っているが,必要ない」の割合が最も高くなっている以外は,「健康診断などがあることや手続きも知っているが,受けていない」が最も高い。なお,「健康診断などがあることを知らない」と回答した人は,男性の20代と40代,女性の20代で2割程度と高くなっている。

図表 健康診断などを受診しない理由【性・年代別】※複数選択

									<u> 1 개 : %0</u>
				サ	と健		続と健		
				ンプ	を康			がや康	
				プ	知診		が知診		
				ル	ら断			受続断	
				数	なな	てな	かてな	けきな	
					いど	いど	らいど	てもど	
					が	るが	なるが	い知が	
					あ	があ		なつあ	
					る	`る	`る	いてる	
					Z	必こ	手こ	いこ	
全			体	2128	11.1	16. 3	15. 0	34. 6	
<u>男</u> 20	性		計	848	14. 0	16. 7	17. 3	30. 4	13.0
20			代	102	23. 5 15. 3 18. 6 13. 4	28. 4	26. 5	16. 7	6. 9
30			代	144	15. 3	18. 1	25. 0	29. 9	10. 4 9. 3 11. 5 17. 2 22. 1
40			代	161	18. 6	10. 6 8. 9	16. 1	34. 2	9. 3
50			代	157	13. 4	8. 9	15. 9	36. 3	11. 5
60			代	163	8. 0	16.0			17. 2
70	歳	以	上	113	6. 2	24. 8	10.6	24. 8	22. 1
女	性		計	1245	9. 1	16.1	13. 3	37. 6	18. 2
20			代	184	19. 0				
30			代	273	13. 2	13. 9	21. 2	34. 4	17. 9
40			代	210	9. 0 6. 0 2. 7	10.0		50. 5	17. 1
50			代	217	6. 0	13.8	5. 1	49.8	19. 4 20. 2 23. 8
60 70			代	183	2. 7	16.4	6.0	42. 1	20. 2
70	歳	以	上	172	2. 9	25.0	10.5	20. 3	23. 8

受診していない健康診断などの種類別にみてみる。

特定健診・特定保健指導(メタボ健診)」,「イ.がん検診」,「ウ.健康教室」について,それぞれ「受けたことがない」と回答した人をみると,「健康診断などがあることや手続きも知っているが,受けていない」の割合が最も高く,次いで「健康診断などがあることは知っているが,必要ない」,「健康診断などがあることは知っているが,手続きがわからない」の順となっている。

図表 健康診断などを受診しない理由【受診していない健康診断などの種類別】※複数選択

						_	- 1-2 70
		サ	と健	要と健	続と健	ると健	そ
		ン	を康	なは康	きは康	がや康	の
		プ	知診	い知診	が知診	`手診	他
		ル	ら断	つ断	わっ断	受続断	
		数	なな	てな	かてな	けきな	
			いど		らいど		
			が	るが	なるが	い知が	
			あ		いがあ		
			る	`る	`る	いてる	
			Ē	必こ	手こ	いこ	
全	体	2128	11.1	16. 3	15. 0	34. 6	16.0
ア、特定健診・	定期的に受けている	501	11.0	15. 2	13. 0	26. 9	12. 0
特定保健指導	受けたことがある	428	11. 2	10. 5	11. 9	36. 4	13. 1
(メタボ健診)	受けたことがない	1188	11. 2	18. 9	17. 0	37. 4	18. 9
	定期的に受けている	184	17. 9	14. 1	6. 5	21.7	19. 6
イ.がん検診	受けたことがある	489	10.0	8. 6	11. 7	40.5	13. 3
イ. がん検診	X 11 12 C C 13 03 0	100		0.0	11.7	10.0	
1. かん快診	受けたことがない	1449	10. 7	19. 2	17. 3	34. 2	16. 4
1. が心快診							16. 4 5. 0
ウ、健康教室	受 け た こ と が な い 定期的に受けている	1449	10. 7	19. 2 25. 0	17. 3	34. 2	16. 4
	受 け た こ と が な い 定期的に受けている	1449 20	10. 7	19. 2 25. 0	17. 3 15. 0	34. 2 25. 0	16. 4 5. 0

健康に関する意識別にみると、『健康である』(=「健康である」+「どちらかといえば健康である」)人はいずれも「健康診断などがあることは知っているが、必要ない」の割合が「健康診断などがあることは知っているが、手続きがわからない」よりも高くなっている。

一方,『健康ではない』(=「どちらかといえば健康でない」+「健康ではない」) 人は「健康診断などがあることは知っているが,必要ない」よりも「健康診断など があることは知っているが,手続きがわからない」の方が高くなっているのが特徴 的である。

図表 健康診断などを受診しない理由【健康に関する意識別】※複数選択

	サンプル数	を知らない 康診断などがあ	ないっている康診断などが	きがわからなよいなどが	るが、受けていなとや手続きも知っ	の他
		るこ	必こ	手こ	いしる	
全体	2128	11. 1	16. 3	15. 0	34. 6	16. 0
健康である	500	10.8	22. 2	15. 4	31. 2	14. 6
どちらかといえば健康で ある	1193	11. 6	15. 7	14. 7	36. 0	15. 1
どちらかといえば健康で ない	289	10. 4	9. 0	15. 2	38. 8	18. 3
健康ではない	140	9. 3	15. 7	16. 4	25. 7	25. 0

(4)健康・医療・福祉に関する情報源

問5.健康・医療・福祉に関する情報をどこから(だれから)得ていますか。あてはまるものをすべて選び,番号に をつけてください。

健康・医療・福祉に関する情報をどこから(だれから)得ているかについてきいたところ,「市政だより」が75.4%で最も多く,突出している。

この他で割合が多くみられるのは「町内会などの回覧板・掲示板」(39.0%),「テレビ,ラジオ,新聞,雑誌等」(35.5%),「友人,知人」および「市のパンフレットやチラシ,ポスター等」(いずれも26.2%),「病院,薬局,福祉施設等」(24.3%),「家族,親族」(23.0%)などの順となっている。

なお,「特にない」と答えた人が4.7%みられる。

(%) 0 20 40 60 80 市政だより 75.4 町内会などの回覧板・掲示板 39.0 35.5 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等 26.2 友人、知人 市のパンフレットやチラシ、ポス 26.2 24.3 病院、薬局、福祉施設等 家族、親族 23.0 公民館の案内掲示板・公民館だ 14.5 インターネット(市のホームページ 11.8 など) 市・区社会福祉協議会の広報紙、 9.8 パンフレット等 区役所や保健福祉センター、いき 7.4 いきセンターふくおか等市の窓口 講演会、講習会、研修会、出前講 3.9 ホームヘルパー、訪問看護師、ケ 3.6 アマネージャー等 2.1 民生委員·児童委員 1.2 NPO、ボランティア団体等 区社会福祉協議会や区ボランティアセ 0.9 ンターの窓口 0.9 その他 4.7 特にない 全体(N=2,633)

図表 健康・医療・福祉に関する情報源【全体】※複数回答

性別にみると,「友人,知人」については女性(29.6%)の方が男性(20.8%)よりも10 ポイント近く上回っており,また,女性は「市のパンフレットやチラシ,ポスター等」,「市・区社会福祉協議会の広報紙,パンフレット等」,「町内会などの回覧板・掲示板」,「公民館の案内掲示板,公民館だより」など,行政が提供する情報が男性より高いのが特徴的である。

性・年代別にみると,男性,女性ともに「市のパンフレットやチラシ,ポスター等」,「市・区社会福祉協議会の広報紙,パンフレット等」,「町内会などの回覧板・掲示板」,「公民館の案内掲示板,公民館だより」などから情報を得ている人が,60 代以上で比較的高い割合となっている。

一方,男性,女性ともに20代は公的な情報源は低く,「家族,親族」が約4割と高く,さらに,男性の20代は「友人・知人」も高く,私的な情報源から情報を得ている傾向が高い。また,20代の男性は「インターネット(市のホームページなど)」の割合が高いのも特徴的である。なお,70歳以上では男女とも「病院・薬局・福祉施設等」が他の年齢層より高くなっている。

図表 健康・医療・福祉に関する情報源【性・年代別】※複数回答

サ 市 シ市 ふタ区 ホイ 広市 ロラ区 示町 民公 民

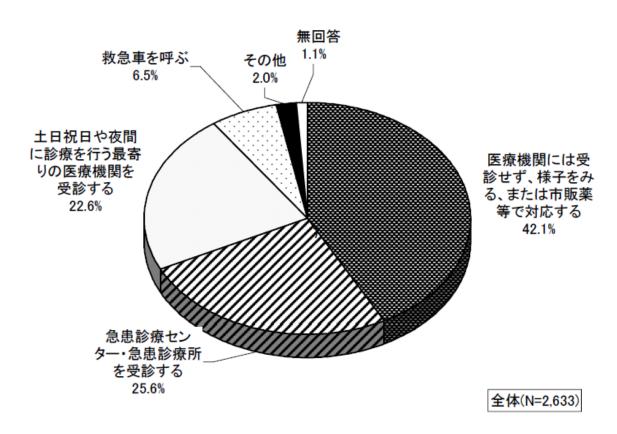
			ンプル数	政だより	7、ポスター等 : のパンフレットやチラ	くおか等市の窓口 一、いきいきセンター (役所や保健福祉セン	ムページなどター ネットへ	(報紙、パンフレット等)・区社会福祉協議会の	- ンティアセンターの窓 社会福祉協議会や区ボ	7板で どの回覧板・掲	(館だより) (民館の案内掲示板・公	5生委員・児童委員
全		体	2633	75.4	26.2	7.4	11.8	9.8	0.9	39.0	14.5	2.1
男	性	計	1044	69.1	22.4		13.4	9.0	0.8	37.2	10.0	1.9
20		代	106	42.5	17.0	1.9	31.1	3.8	-	11.3	3.8	0.9
30		代	158	60.1	17.1	4.4	19.6	8.2	1.3	21.5	3.8	1.3
40		代	186	71.0	18.3	3.8	17.2	4.8	0.5	31.2	7.0	1.1
50		代	205	68.8	21.0	7.3	12.7	5.4	-	44.4	6.3	0.5
60		代	204	77.5	28.4	9.8	5.9	10.3	1.5	44.1	15.7	2.0
70	歳以	上	175	82.9	30.3	16.6	3.4	20.6	1.1	56.6	20.0	5.7
女	性	計	1539	79.7	28.5	7.3	10.7		1.0	40.3	17.5	2.3
20		代	185	53.5	19.5	1.6	19.5	1.1	-	13.0	5.9	-
30		代	291	79.4	22.0	5.5	18.6	4.8	0.7	26.1	18.2	1.4
40		代	242	83.9	31.4		15.7	6.2	_	35.1	16.1	0.4
50		代	277	83.8	29.6	8.3	9.0	12.3	1.1	47.3	15.2	0.4
60	48 11	代	269	87.4	37.9	9.7	4.1	18.2	2.6	61.7	21.6	4.5
70	歳以	上	268	82.1	28.4	12.7	0.4	15.3	1.1	50.4	24.6	6.3
			サンプル数	体等NPO、ボランティア団	家族、親族	友人、知人	雑誌等テレビ、ラジオ、新聞、	病院、薬局、福祉施設等	等 護師、ケアマネージャーホー ムヘルパー 、訪問看	会、出前講座等講演会、講習会、研修	その他	特にない
全		体	2633	1.2	23.0	26.2	35.5	24.3	3.6	3.9	0.9	4.7
男	性	計	1044	0.8	23.6	20.8	33.4	22.7	2.9	3.1	1.7	7.0
20		代	106	_	43.4	34.9	37.7	19.8	0.9	0.9	0.9	11.3
30		代	158	0.6	28.5	22.8	27.2	13.9	0.6	1.3	1.3	10.1
40		代	186	-	18.3	16.7	32.3	18.8	0.5	2.7	3.2	8.1
50		代	205	-	22.9	18.0	34.1	24.9	3.4	1.0	3.4	8.3
60		代	204	1.0	16.7	16.7	30.9	22.1	2.9	2.0	1.0	3.9
70	歳以	上	175	2.9	21.1	23.4	41.1		8.0	10.3	_	1.7
女	性	計	1539	1.4	22.2	29.6	36.9	25.6	4.0	4.4	0.5	3.1
20		代	185	1.1	38.4	26.5	29.7	24.9	2.2	3.2	1.1	8.1
30		代	291	0.3	19.9	27.8	26.8		1.7	1.7	0.7	4.8
40		代	242	0.4	18.6	27.7	31.4		2.5	1.2	0.8	2.5
50		代	277	1.4	17.7	30.7	43.0	27.8	4.3	4.0	0.4	1.1
60	- IV	代	269	3.3	21.9	34.6	45.7	26.8	3.0	10.0	_	1.5
70	歳以	上	268	1.5	22.0	29.5	42.5	28.0	9.7	6.0	_	2.2

(5) 土日祝日や夜間の高熱に対する対応

問7.あなたが土日祝日や夜間に,39 度を超える高熱が出た場合,どうしますか。あてはまるものを1つ選び,番号に をつけてください。

土日祝日や夜間に39 度を超える高熱が出た場合の対応については,「医療機関には受診せず,様子をみる,または市販薬等で対応する」と答えた人が42.1%で最も多く,次いで「急患診療センター・急患診療所を受診する」(25.6%),「土日祝日や夜間に診療を行う最寄りの医療機関を受診する」(22.6%),「救急車を呼ぶ」(6.5%)の順となっている。

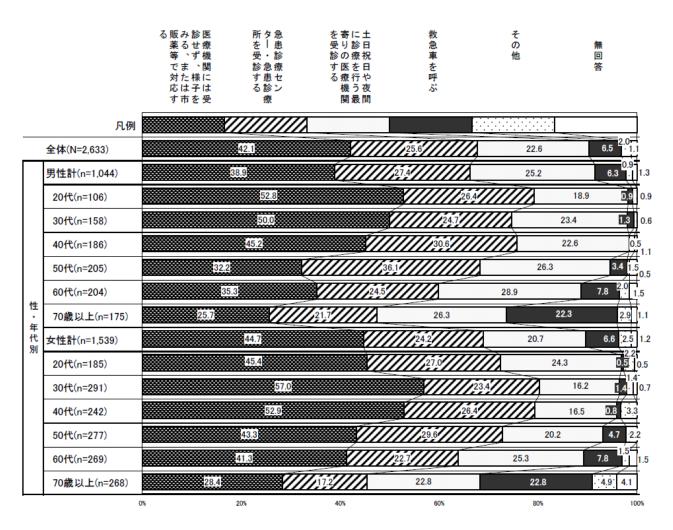
図表 土日祝日や夜間に39度を超える高熱が出た場合の対応【全体】



性別にみると、「医療機関には受診せず、様子をみる、または市販薬等で対応する」の割合は女性の方がやや高く、「急患診療センター・急患診療所を受診する」、「土日祝日や夜間に診療を行う最寄りの医療機関を受診する」は男性の方がやや高く、男性の方が医療機関を利用する傾向がうかがえる。

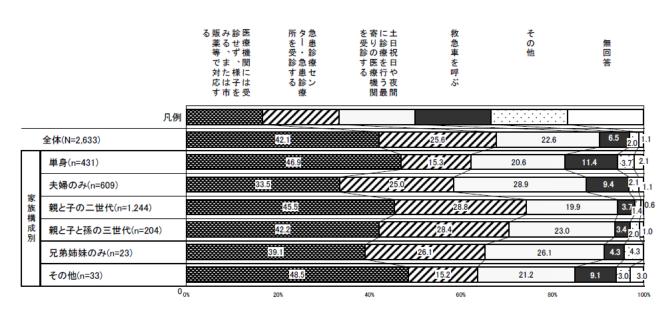
性・年代別にみると,「医療機関には受診せず,様子をみる,または市販薬等で対応する」は,男性の50代,女性の20代で多少前後するものの,概ね年代が高くなるほど割合は低くなる傾向がみられる。なお,男性,女性ともに「救急車を呼ぶ」が70歳以上で2割以上と突出して高くなっている。

図表 土日祝日や夜間に39度を超える高熱が出た場合の対応【性・年代別】



家族構成別にみると、いずれの世帯も「医療機関には受診せず、様子をみる、または市販薬等で対応する」の割合が最も高いが、2番目に高いのは「単身(同居人はいない)」、「夫婦のみ」では「土日祝日や夜間に診療を行う最寄りの医療機関を受診する」、「親と子の二世代」、「親と子と孫の三世代」では「急患診療センター・急患診療所を受診する」となっている。

図表 土日祝日や夜間に39度を超える高熱が出た場合の対応【家族構成別】



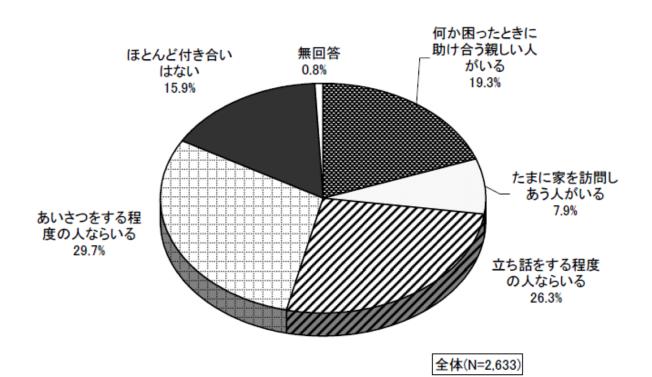
2 近所関係と健康・福祉

(1)近所との関係

問10.ご近所の方との関係は,次のどれに近いですか。あてはまるものを1つ選び,番号に をつけてください。

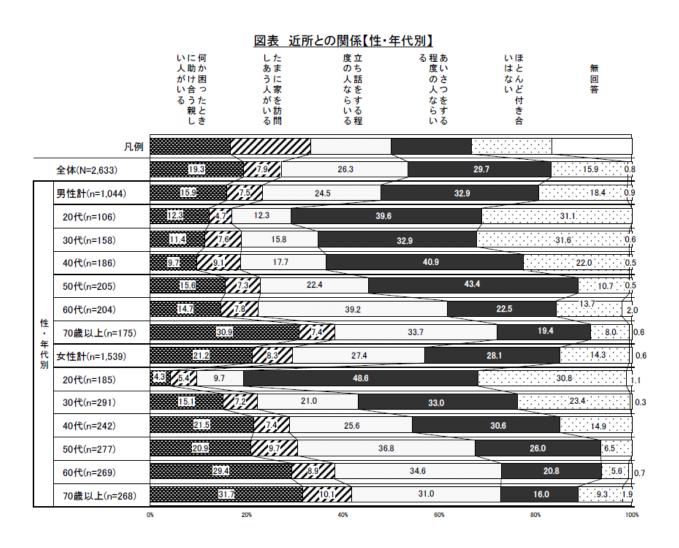
近所との関係についてきいたところ,「あいさつをする程度の人ならいる」と答えた人の割合が29.7%で最も多く,次いで「立ち話をする程度の人ならいる」(26.3%),「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」(19.3%),「たまに家を訪問しあう人がいる」(7.9%)の順となっている。なお,「ほとんど付き合いはない」と答えた人は15.9%となっている。

図表 近所との関係【全体】

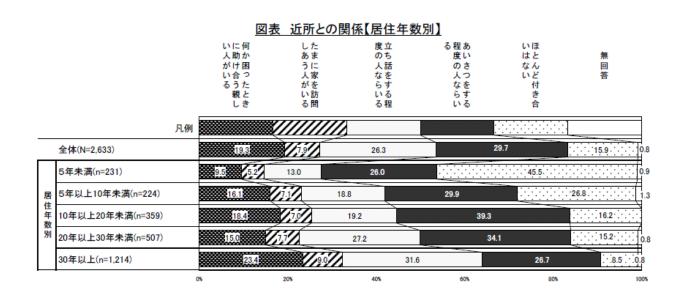


性別にみると,男性は「ほとんど付き合いはない」(18.4%),女性は「何か困ったときに助け合う人がいる」(21.1%)が比較的高く,女性のほうが近所との関係はうまくいっている状況がうかがえる。

性・年代別にみると,「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」と回答した人は,男性の70歳以上(30.9%)が他の年代を大きく上回っている。一方,女性は年代が高くなるほど「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」と回答した人の割合が高くなる傾向がみられる。男性の20代と30代,女性の20代は「ほとんど付き合いはない」が3割を超えており,若い年代は近所づきあいが希薄である。

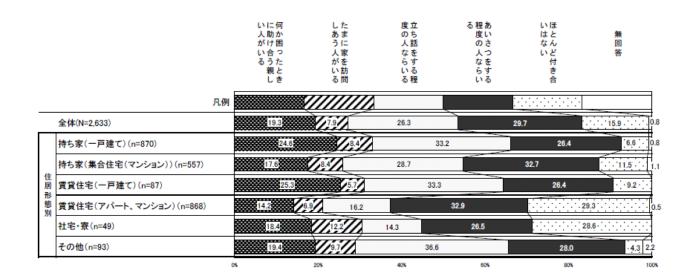


居住年数別にみると,居住年数が短くなるほど「ほとんど付き合いはない」と回答した人の割合は高くなる傾向がみられる。



住居形態別にみると、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」と回答した人は、「持ち家(一戸建て)」、「賃貸住宅(一戸建て)」の、いわゆる一戸建ての人で4人に1人程度の割合と高くなっている。一方、「賃貸住宅(アパート、マンション)」と「社宅・寮」は「ほとんど付き合いはない」と回答した人が3割程度みられる。

図表 近所との関係【住居形態別】



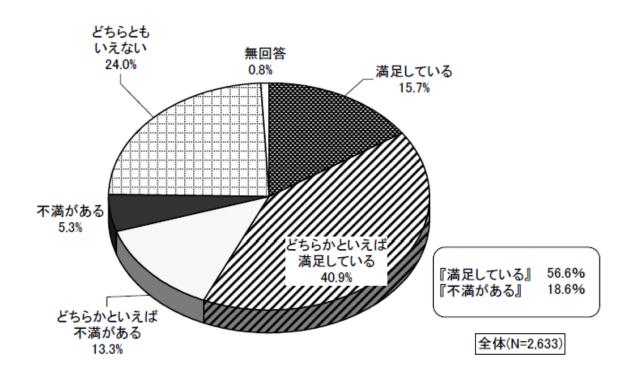
(2)近所づきあいの満足度

問11.今の近所づきあいに満足していますか。あてはまるものを1つ選び,番号にをつけてください。

今の近所づきあいの満足度をみると「満足している」と答えた人の割合は15.7%,「どちらかといえば満足している」は40.9%で,『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足している」)人の割合は56.6%と,全体の過半数を占めている。

一方,「不満がある」は5.3%,「どちらかといえば不満がある」は13.3%で,『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満がある」)人の割合は18.6%となっている。なお,「どちらともいえない」と答えた人は24.0%となっている。

図表 近所づきあいの満足度【全体】



性別にみると,『満足している』人の割合は,男性が54.9%,女性は57.6%で, 性別による差はほとんどみられない。

性・年代別にみると、『満足している』人の割合は、男性が70歳以上、女性は60代が最も高くなっている。男性、女性ともに20代、30代は「どちらともいえない」が3割前後あり、付き合いの程度が若い年代では希薄であったことを考え合わせると、当然の結果であろう。



家族構成別にみると、『満足している』人は、「親と子と孫の三世代」が63.2%で最も高く、次いで「親と子の二世代」(59.8%)、「夫婦のみ」(55.8%)の順となっている。

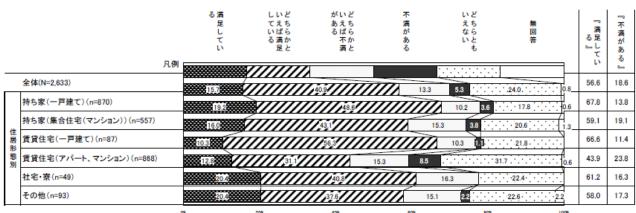
		図表	近所づきあり	ハの満足度【『	家族構成別				
		る満足してい	しいど いえばあら る 足と	がいだちら る 不満と	不 満 が あ る	いえない どちらとも	無回答	『満足して	『不満がある
	凡	91						L)	⊕
	全体(N=2,633)	15.7	///////////////////////////////////////	9///////	13.3	5.3	0.8	56.6	18.6
	単身(n=431)	15.3	/////30,6//	11.6	7.2	34.3	0.9	45.9	18.8
	夫婦のみ(n=609)	14.4	///////////////////////////////////////		14.9	5.7	1.0	55.8	20.6
家族構	親と子の二世代(n=1,244)	15.2		44.6////////	13.	7 4.72	1.1 0.6	59.8	18.4
成別	親と子と孫の三世代(n=204)	23.5		////39.7////		12.7 3.9	19.1	63.2	16.6
	兄弟姉妹のみ(n=23)	17.4	26.1	17.4	4.3	34.8		43.5	21.7
	その他(n=33)	9.1	//////A///		6.1 12.1			51.5	18.2
-		00%	20%	40%	60%	80%	100%		

居住年数別にみると,『満足している』人の割合は,「20 年以上30 年未満」で 前後するものの,概ね居住年数が長くなるほど割合は高くなる傾向がみられる。

近所づきあいの満足度【居住年数別】 る満足 しいど がいど いえない 『満 る足・ 不満がある る満か 不か ある ≟ してい 凡例 全体(N=2.633) 40.9 5.3 18.6 7 28.6 12.1 5年未満(n=231) 5.4 22.8 5年以上10年未満(n=224) 25.0 10年以上20年未満(n=359) 19.5 13.0 20年以上30年未満(n=507) 18.9 30年以上(n=1,214) 12.3 4.0 21.0 62.2 16.3

住居形態別にみると,『満足している』人の割合は,「持ち家(一戸建て)」,「賃貸住宅(一戸建て)」の,いわゆる一戸建ての人が,いずれも7割程度と高くなっている。一方,「賃貸住宅(アパート,マンション)」(43.9%)は他に比べて15 ポイント以上下回っている。

図表 近所づきあいの満足度【住居形態別】

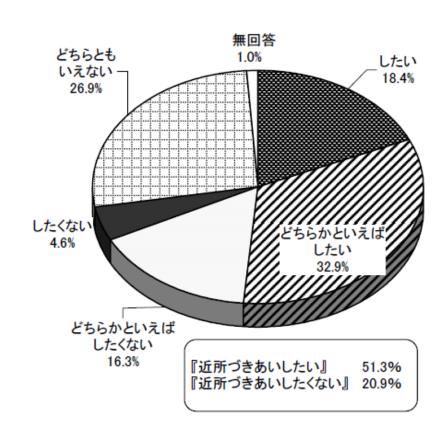


(3)近所づきあいの今後の意向

問12.近所づきあいをしたいとお考えですか。あてはまるものを1つ選び,番号にをつけてください。

近所づきあいをしたいかどうかきいたところ,「したい」と答えた人の割合は 18.4%,「どちらかといえばしたい」は32.9%で,『近所づきあいしたい』(=「したい」+「どちらかといえばしたい」)人の割合は51.3%と,全体の過半数を占めている。一方,「したくない」は4.6%,「どちらかといえばしたくない」は16.3%で,『近所づきあいしたくない』(=「したくない」+「どちらかといえばしたくない」)人の割合は20.9%となっている。なお,「どちらともいえない」と答えた人は26.9%となっている。

図表 近所づきあいの今後の意向【全体】



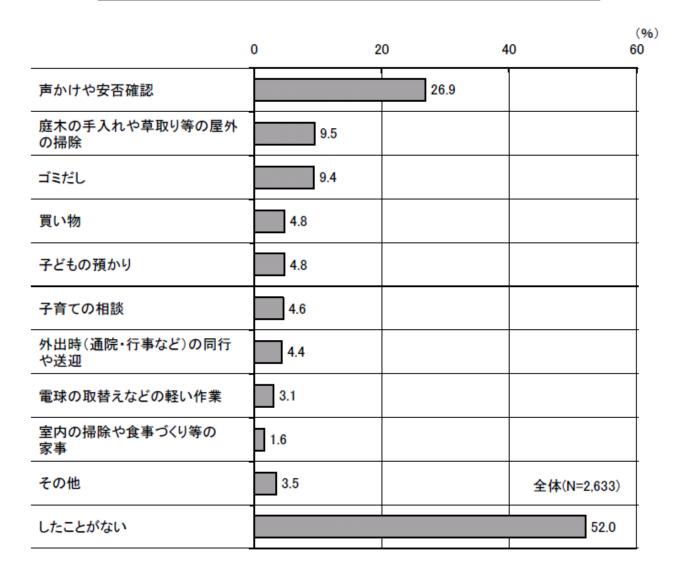
全体(N=2,633)

(4)過去1年間における近所の人への協力について

問13.近所の人に対して,過去1年間の間に,どのような協力をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選び,番号に をつけてください。

近所の人に対して,過去1年間の間に,どのような協力をしたことがあるかきいたところ,「声かけや安否確認」が26.9%で最も多く,次いで「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」(9.5%),「ゴミだし」(9.4%)などの順となっている。なお,「したことがない」と答えた人が52.0%と,全体の過半数を占めている。

図表 過去1年間における近所の人への協力について【全体】※複数回答



性別にみると,「声かけや安否確認」は女性がやや高く,「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」は,男性が高くなっている。

性・年代別にみると,男性は70歳以上,女性は60代と70歳以上で「声かけや安否確認」の割合が最も高い。それ以外の年代では「したことがない」が最も高いが,年代が高くなるほどその割合は低くなる傾向がみられる。また,男性の70歳以上は「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」が,女性の30代,40代は「子どもの預かり」,「子育ての相談」が,それぞれ他の年代に比べて高くなっているのが特徴的である。

図表 過去 1 年間における近所の人への協力について【性・年代別】※複数回答

													単	位:%
			ر ر د ∔	声かけ	ゴミだ	買い物	り室	等庭の屋	ど) 出時	い電 作球 業の	子ども	子育て	その他	したこ
			ル 数	や安否	L		家掃事除や	外手 の入 掃れ	同 行通 や院	取 替 え	の 預 か	相談		とがな
				確認			食事	除や 草	送· 迎行	など	4)	n.X		i,
							づく	取 り	事 な	の 軽				
全		体	2633	26. 9	9. 4	4. 8	1.6	9. 5	4. 4	3. 1	4. 8	4. 6	3. 5	52. 0
男	性	計	1044	23. 9	10. 9	4. 4	1. 2	13. 4	4. 0	4. 5	3. 4	2.8	3. 5	52. 9
20		代	106	6. 6	8. 5	3.8	2. 8	3.8	1. 9	5. 7	3.8	1. 9	0. 9	71.7
30		代	158	18. 4	7. 6	3. 2	0.6	1. 9	5. 1	2. 5	5. 1	7. 0	1. 9	65. 2
40		代	186	16. 1	8. 6	2. 7	1.1	9. 7	3.8	3.8	7. 0	4. 3	3. 2	61.3
50		代	205	20.0	12. 7	5. 9	1. 5	14. 1	2. 9	4. 9	2. 4	2. 0	3. 9	53. 2
60		代	204	33. 3	10. 3	2. 9	0. 5	19. 6	2. 9	6. 9	2. 9	1.5	4. 4	44. 1
70	歳 以	上	175	41. 1	16. 6	8. 0	1. 7	25. 7	7. 4	3.4	ı	0.6	5. 7	30. 9
女	性	計	1539	29.0	8. 4	5. 2	1.8	7. 0	4. 5	2. 1	5.8	5. 9	3. 4	51.6
20	·	代	185	13. 5	5. 9	2. 2	1.1	2. 2	-	1.6	4. 3	4. 3	0. 5	73. 0
女 20 30		代	291	17. 5	2. 4	5. 2	1. 0	3.8	6. 2	1.4	14. 1	13. 7	1.4	60. 5
40		代	242	24. 0	7. 0	2. 5	2. 9	6. 2	3. 3	1. 2	10.3	8.3	2. 5	56. 2
50		代	277	29.6	11. 2	6. 5	1.4	8. 3	6. 9	2. 2	2. 9	5. 1	5. 4	50. 5
60		代	269	43. 1	11. 9	7. 8	3. 0	9. 7	6. 7	2. 6	1.1	3.0	7. 8	39.8
70	哉 以	F	268	41 4	11 2	6.0	1.1	10 4	2.6	3 7	1.5	0 4	2 2	36.2

家族構成別にみると、「親と子の二世代」と「親と子と孫の三世代」は「子どもの預かり」と「子育ての相談」の割合が高くなっている。

図表 過去1年間における近所の人への協力について【家族構成別】※複数回答

単位:% ど外 子ど 等庭 育 ンプ Ξ 等内 出 作球 ത か い の木 たことが だ の時 ŧ て 他 け のの 屋の 業の 家 掃 外手 ത ത ル ゃ 同(取 行通 預 安 事 除 の入 相 1えなど 否 掃れ な ゃ や院 か 談 食 除や 確 送• 争づ 認 草 迎行 取 の 軽 な 2633 26. 9 9.4 4.8 1. 6 9. 5 4.8 4.6 3.5 52.0 4. 4 3.1 体 単身(同居人はいない) 431 20.9 10. 4 4. 4 1. 2 6.5 1. 9 2.1 1.4 0.5 1. 9 63.8 婦 609 34. 6 10.0 1.8 12.8 3.9 2.6 3.8 47.3 6.6 1.1 1.6 の H と子の二 世代 1244 24. 9 9. 0 4. 4 1.5 8.7 5. 1 3.1 7.8 7. 6 4. 1 51.3 親と子と孫の三世代 204 28. 4 7.8 3.4 2. 5 9.8 4. 4 4.9 6.9 4. 4 3.4 48.0 弟姉妹のみ 23 26. 1 4. 3 8.7 8.7 4. 3 52. 2 3. 0 6. 1 27. 3 6. 1 12. 1 3.0 6.1 60.6

居住年数別にみると、「声かけや安否確認」と回答した人の割合は居住年数が長くなるほど高くなる傾向がみられ、「30年以上」は36.0%と最も高くなっている。

図表 過去 1 年間における近所の人への協力について【居住年数別】※複数回答

											単	位:%
	サンプル数	声かけや安否確認	ゴミだし	買い物	り等の家事室内の掃除や食事づく	等の屋外の掃除庭木の手入れや草取り	ど)の同行や送迎外出時(通院・行事な	い作業電球の取替えなどの軽	子どもの預かり	子育ての相談	その他	したことがない
全 体	2633	26. 9	9. 4	4. 8	1.6	9. 5	4. 4	3. 1	4.8	4. 6	3. 5	52.0
5 年 未 満	231	10.0	6. 5	3. 5	1. 7	6. 5	3. 9	0. 9	5. 6	8. 7	1. 3	69.7
5年以上10年未満	224	16. 1	6. 7	6. 7	1.8	5. 8	5. 4	1. 3	6.7	8. 9	1.8	63.4
10年以上20年未満	359	20. 9	6. 4	3. 3	0.8	6. 1	3.6	2. 5	6.7	7. 0	3. 3	59.1
20 年以上30年未満	507	21. 1	10. 1	4. 1	2. 0	6. 1	2. 6	2. 4	5. 1	2. 8	2. 6	59.0
30 年 以 上	1214	36.0	11. 2	5. 7	1.7	13. 4	5. 4	4. 4	3.8	3. 1	4.8	41.5

住居形態別にみると、「社宅・寮」で「子どもの預かり」(12.2%)と「子育ての相談」(18.4%)、「外出時(通院・行事など)の同行や送迎」(10.2%)と回答した人の割合が、他の住居形態を大きく上回っている。

また,「持ち家(一戸建て)」,「賃貸住宅(一戸建て)」の,いわゆる一戸建ての人は,「声かけや安否確認」と「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」の割合が,それぞれ他の住居形態に比べて高くなっているのが特徴的である。

図表 過去1年間における近所の人への協力について【住居形態別】※複数回答

											単	位:%
	サンプル数	声かけや安否確認	ゴミだし	買い物	り等の家事室内の掃除や食事づく	等の屋外の掃除庭木の手入れや草取り	ど)の同行や送迎外出時(通院・行事な	い作業電球の取替えなどの軽	子どもの預かり	子育ての相談	その他	したことがない
全 体	2633	26. 9	9. 4	4. 8	1.6	9. 5	4. 4	3. 1	4.8	4. 6	3. 5	52. 0
持ち家(一戸建て)	870	35. 9	10. 7	6. 1	2. 2	13. 6	5. 4	3. 1	3.4	3. 1	4. 1	43.3
持ち家(集合住宅 (マンション))	557	25. 3	7. 4	5. 2	1.8	6. 3	5. 2	2. 7	6.8	5. 7	4. 8	53. 1
賃貸住宅(一戸建て)	87	36.8	12. 6	4. 6	3. 4	20. 7	1.1	5. 7	5. 7	2. 3	4. 6	41.4
賃貸住宅(アパート、マンション)	868	17. 5	8. 4	3. 8	0. 9	5. 9	3. 1	2. 4	5. 0	5. 1	2. 1	62. 9
社 宅 ・ 寮	49	14. 3	12. 2	10. 2	4. 1	12. 2	10. 2	2. 0	12. 2	18. 4	4. 1	49.0
そ の 他	93	35. 5	17. 2	1.1	-	16. 1	4. 3	9. 7	2. 2	3. 2	3. 2	33. 3

近所との関係別にみると,「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」もしくは「たまに家を訪問しあう人がいる」と回答した人は「声かけや安否確認」が,その他はいずれも「したことがない」の割合が最も高くなっている。

図表 過去 1 年間における近所の人への協力について【近所との関係別】※複数回答

単位:% り室 等庭 い雷 L か Ξ い 等内 の木 出 作球 یخ 育 ത た プ ے け だ 物 ŧ 他 のの 屋の の時 業の て ル ത മ ゃ 家 掃 外手 同へ 取 が 安 事 除 の入 行通 替 預 相 数 や院 否 掃れ え か 談 な 確 食 除や 送 • な یے 訍 事 草 迎行 ゔ゙ 取 တ な 軽 2633 26.9 9.4 4.8 1.6 9.5 4.4 3.1 4.8 4.6 3.5 52.0 何か困ったときに助け合 509 56.6 12.6 14.3 17.7 15.3 4. 5 14.9 11.2 4. 5 13.4 4.5 たまに家を訪問 ま、 あう * 話 9.1 9.1 209 43.1 13.9 10.0 2.9 13.9 11.0 11.5 5.3 24.9 が 693 32.6 10.1 3.3 0.7 11. 1 3.6 3. 2 2.3 3 2 4.8 45.5 <u>程度の人ならいる</u> あいさつをする 2.8 782 11.8 5.9 0.4 0.8 7. 2 1.2 2. 2 2.7 1.3 70.1 程度の人ならい る ΙŦ 419 2.1 3.1 0.5 0.5 2.9 0.2 0. 2 0.7 0.2 0.2 90.7

地域で行われている福祉活動のうち、「ふれあいネットワーク活動」の参加状況別にみると、いずれの項目も「ふれあいネットワーク活動」の参加・認知度が高くなるほど近所の人への協力経験も高くなる傾向がみられる。特に、「参加したことがある」と回答した人で、「声かけや安否確認」(70.7%)の割合が群を抜いて高いのが特徴的である。

図表 過去 1 年間における近所の人への協力について【ふれあいネットワーク活動の参加状況別】※複数回答

ど外 り室 等 庭 い雷 L い 等内 作球 تع 育 の か の木 た プ だ 物 業の け の時 ŧ て のの 屋の 他 ル ゃ 家掃 外手 取 の ഗ ع 同(が 安 事除 の入 行通 替 預 数 相 否 掃れ や院 え か な んなど 確 食 除や 送• い 迎行 認 事 苜 取 **ഗ** 軽 2633 26.9 9.4 4.8 1.6 9.5 4.4 3.1 4.8 4.6 52.0 参加したことがある 70.7 25.3 12.0 4.0 18. 7 20.0 10.7 4.0 5.3 2.7 12.0 参加したことはないが、 内 容 は 知 っ て い ? 288 48.3 18.8 2.8 17.7 4.9 4.5 5.9 27.1 内容は知らないが 597 5.4 34.5 9.0 1.8 11.2 4.7 4.4 4.5 6.5 5.0 43.6 聞いたことがあ 聞いたことがない 1551 17.5 7.1 3.5 1.1 3.6 2.0 3.7 6.8 4.6 2.3 63.2 地域で行われている福祉活動のうち,「ふれあいサロン活動」の参加状況別にみると,「ふれあいネットワーク活動」の参加状況別とほぼ同様に「ふれあいサロン活動」の参加・認知度が高くなるほど,近所の人への協力経験も高くなる傾向がみられるが,「室内の掃除や食事づくり等の家事」と「子どもの預かり」は,最も参加・認知度が高い「参加したことがある」と回答した人の割合が低くなっている。

図表 過去 1 年間における近所の人への協力について【ふれあいサロン活動の参加状況別】※複数回答

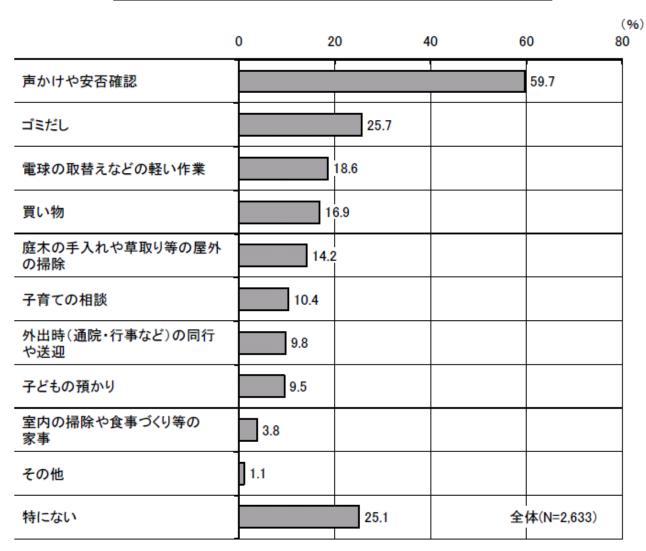
											甲	位:%
	サンプル数	声かけや安否確認	ゴミだし	買い物	り等の家事室内の掃除や食事づく	等の屋外の掃除庭木の手入れや草取り	ど)の同行や送迎外出時(通院・行事な	い作業電球の取替えなどの軽	子どもの預かり	子育ての相談	その他	したことがない
全 体	2633	26. 9	9. 4	4. 8	1. 6	9. 5	4. 4	3. 1	4. 8	4. 6	3. 5	52. 0
参加したことがある	79	62. 0	20. 3	11. 4	1.3	16. 5	7. 6	6. 3	3. 8	10. 1	2. 5	21. 5
参加したことはないが、 内 容 は 知 っ て い る	314	45. 2	15. 9	7. 3	2. 5	15. 3	7. 0	4. 5	7. 3	8. 0	6. 4	28. 0
内容は知らないが、聞いたことがある	552	36. 2	10. 5	6. 2	1. 4	11. 6	4. 2	3. 6	5. 8	6. 3	4. 2	42. 4
聞いたことがない	1541	17. 4	6.6	3. 2	1. 2	6. 9	3. 6	2. 3	4. 0	3. 2	2. 5	64. 0

(5)近所の人に対して,今後協力できること

問14.近所の人に対して,今後,あなたが協力できることがありますか。あてはまるものをすべて選び,番号にをつけてください。

近所の人に対して,今後,あなたが協力できることがあるかどうかきいたところ,「声かけや安否確認」が59.7%で最も多く,突出している。次いで「ゴミだし」(25.7%),「電球の取替えなどの軽い作業」(18.6%),「買い物」(16.9%),「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」(14.2%)などの順となっている。なお,「特にない」と答えた人は25.1%となっている。

図表 近所の人に対して、今後協力できること【全体】※複数回答



性別にみると,男性は「電球の取替えなどの軽い作業」(27.1%),「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」(20.7%)が,女性の割合の約2倍となっている。一方,女性は「買い物」(21.4%),「子育ての相談」(13.3%),「子どもの預かり」(12.2%)が男性の割合の約2倍になっており,男女で差がみられる。

性・年代別にみると,男性,女性ともに20代から40代までは「子どもの預かり」が比較的高い割合となっている。しかし,男性の30代は「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」(5.7%)と回答している人の割合が他の年代を10ポイント以上下まわっている。また,女性の70歳以上では,「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」を除くいずれの項目でも,60代までに比べて割合が急激に低くなっているのが特徴的である。

また,今後協力できることの性・年代別の特徴は,実際に協力したことと同じ傾向を示しているが,割合は協力できることの方が高く,近所の人に協力する意向が潜在化していることがうかがえる。

図表 近所の人に対して、今後協力できること【性・年代別】※複数回答

単位:% り室 等庭 ンプ ٹے か Ξ い 等内 の木 出 作球 育 に け だ のの 屋の の時 業の ŧ て 物 な ゃ 家掃 の ル 外手 同へ 取 の い 事除 替 預 数 安 の入 行通 相 否 ゃ 掃れ や院 え か など 確 食 除や 送 • 認 事 草 迎行 づ 取 ത 軽 9.8 59.7 25. 7 16.9 3.8 14. 2 10.4 25.1 2633 18.6 9.5 性 1044 56. 5 24. 6 10.4 2. 4 20. 7 10. 7 27. 1 5.7 5.9 1.3 26.1 106 47. 2 34.0 13.2 17. 0 14. 2 37.7 9.4 6.6 1.9 28.3 代 6.6 30 158 48. 7 17. 7 7. 6 0.6 5. 7 11.4 25. 3 10.1 10.8 0.6 29.1 8.6 7. 0 28.5 40 186 23. 7 11.3 2. 2 16.7 29.0 10.8 0.5 57. 5 7.8 205 56. 1 <u>23</u>. 4 7.8 1.5 22.9 31.7 2.4 6.8 0.5 28.3 2.9 60 70 29. 4 27. 4 27. 5 21. 1 22. 9 64. 2 28. 4 13.7 12.3 4.9 9.7 0. 6 14.9 0.6 60.6 23. 4 11.4 175 62.0 21.4 4. 7 9. 3 13. 1 12. 2 13.3 1.0 24.6 1539 26.8 9.8 10.3 6. 5 185 48. 1 20.0 3.8 10.3 14. 1 11.9 5.9 1.1 38.4 63. 9 28. 5 21.0 3.8 6. 2 17. 9 23. 4 23. 7 19.9 30 291 8.9 1.4 14. 9 15.7 19.4 40 242 62.8 27. 3 21.1 4. 5 8. 3 10.3 0.8 20.7 277 65.0 33.9 28. 9 6.9 11.2 16.6 9.0 15. 9 22.4 50 代 10. 1 1.8 10.4 60 269 74. 7 33.8 29.7 7. 4 10.8 14. 5 11.5 8.9 0.4 17.5 52. 6 14. 9

家族構成別にみると,「親と子の二世代」や「親と子と孫の三世代」で,「子どもの預かり」や「子育ての相談」の割合が他に比べて高く,今後協力できることは実際に協力したことと同じ傾向を示しているが,割合は今後協力できることの方が高くなっている。

図表 近所の人に対して、今後協力できること【家族構成別】※複数回答

単位:% り室 等庭 ど外 い電 تح 育 に か Ξ い 等内 の木 出 作球 プ だ ŧ け 屋の の時 業の て 他 な のの ル ゃ 家掃 外手 同へ 取 ത ത い 安 の入 替 預 相 数 事 除 行通 否 ゃ 掃れ や院 え か 談 な 確 食 除や 送• 事づ ٹے 草 迎行 取 ത な 2633 59. 7 | 25. 7 | 16. 9 3.8 14.2 9.8 18.6 9.5 10.4 25. 1 1.1 25. 8 | 15. 5 4. 2 単身(同居人はいない) 431 49.4 4.6 13. 9 6.7 18.8 2. 3 0.5 33.4 609 64. 5 25. 3 17. 6 3.1 16. 1 8.7 16. 7 3.8 6. 1 1.1 23.3 H 親と子の二世代 1244 60.8 27.0 17.8 3.9 12.9 10.6 20.8 14. 1 15.4 1.4 23.4 親と子と孫の三世代 204 62.3 20.1 13. 2 3.4 14.2 12. 3 | 13. 7 11.8 10.3 2.0 24.0 23 60. 9 21. 7 33 63. 6 36. 4 弟姉妹のみ 17. 4 4. 3 13.0 13.0 8. 7 4.3 4.3 26. 1 15. 2 15. 2 21. 2 9.1 电 6.1 24. 2 12. 1 മ

65 歳以上の同居人の有無別にみると,いずれも「声かけや安否確認」の割合が 最も高くなっている。

なお,「65 歳以上の同居人はいない」人は,「子どもの預かり」や「子育ての相談」の割合が高い。

図表 近所の人に対して、今後協力できること【65歳以上の同居人の有無別】※複数回答

単位:% 特 نخ ンプ 育 Ξ 出 作球 の か い 等内 の木 に け だ 物 の時 ŧ τ のの 屋の 業の な ル ゃ 家掃 外手 同へ 取 の の い 安 数 事除 の入 行通 替 預 相 否 掃れ や院 え んなど 確 食 除や 送• 認 事 迎行 ゔ 取 ത な 軽 全 2633 59.7 25. 7 16.9 3.8 14.2 9.8 18.6 9.5 10.4 1. 1 25. 1 65 74 488 68.6 22.3 7.0 27.3 4.7 21.1 14.1 18.4 1.6 18.6 る の H 歳以上の 75 407 55.8 18.9 11.5 2.0 7.4 9.6 4.7 4.7 1.0 14.5 30.5 る の 24 が LI 65~74歳の人、75歳以上 119 61.3 17.6 12.6 2.5 20.2 14.3 11.8 4.2 5.9 1.7 22.7 の 人の両方がいる 65 以 上 1606 57.9 27.6 17.0 4.0 11.6 8.8 21.6 12.0 13.8 1.0 25.8 は 居 1.1 1 言

地域で行われている福祉活動のうち、「ふれあいネットワーク活動」の参加状況 別にみると、「声かけや安否確認」、「買い物」、「外出時(通院・行事など)の 同行や送迎」、「電球の取替えなどの軽い作業」については、参加・認知度が高く なるほど、今後協力できると回答した割合が高くなっている。

また,「ゴミだし」,「室内の掃除や食事づくり等の家事」,「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」,「子育ての相談」は「内容は知っている」と回答した人の割合が最も高く,今後の協力が期待される。

一方で,「子どもの預かり」については,参加・認知度が低くなるほど協力意向が高くなり,他の項目と異なる傾向がみられる。

また,「参加したことがある」と回答した人は,「参加したことがないが,内容を知っている」人よりも「買い物」や「外出時(通院・行事など)の同行や送迎」が10 ポイント以上上回っている。

図表 近所の人に対して、今後協力できること【ふれあいネットワーク活動の参加状況別】※複数回答

											単	位:%
	サンプル数	声かけや安否確認	ゴミだし	買い物	り等の家事室内の掃除や食事づく	等の屋外の掃除庭木の手入れや草取り	ど)の同行や送迎外出時(通院・行事な	い作業電球の取替えなどの軽	子どもの預かり	子育ての相談	その他	特にない
全体	2633	59. 7	25. 7	16.9	3.8	14. 2	9.8	18. 6	9. 5	10.4	1.1	25. 1
参加したことがある	75	82. 7	34. 7	36.0	5. 3	20. 0	26. 7	25. 3	8. 0	9.3	-	9. 3
参加したことはないが、 内 容 は 知 っ て い る	288	74. 7	35. 4	26. 7	5. 9	24. 7	13. 9	19.8	9. 0	13. 9	1.4	15. 3
内容は知らないが、聞いたことがある	597	68. 7	29. 5	20. 1	3. 9	14. 4	10. 7	19. 3	9. 0	12. 9	1. 7	20. 6
聞いたことがない	1551	54. 7	23. 4	13. 9	3. 3	12. 1	8. 4	19. 0	10.3	9.5	0. 9	30. 6

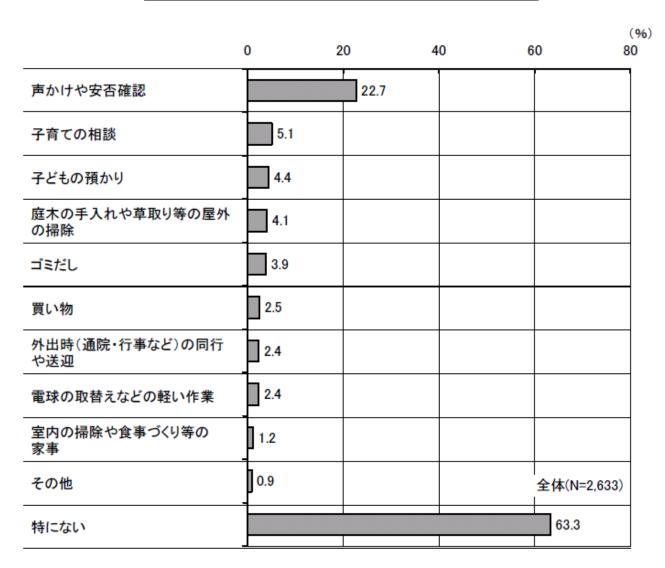
(6)近所の人から協力してほしいこと

問15.近所の人から,協力してほしいことがありますか。あてはまるものをすべて選び,番号に をつけてください。

近所の人から,協力してほしいことについては,「声かけや安否確認」が22.7%で最も多く,突出している。次いで「子育ての相談」(5.1%),「子どもの預かり」(4.4%),「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」(4.1%),「ゴミだし」(3.9%)などの順となっている。

なお,「特にない」と答えた人が63.3%と,全体の6割以上を占めている。

図表 近所の人から協力してほしいこと【全体】※複数回答



性別にみると,「買い物」,「室内の掃除や食事づくり等の家事」,「子どもの預かり」,「子育ての相談」は,女性が男性の割合の約2倍となっている。

性・年代別にみると,男性,女性ともに30代では「子どもの預かり」や「子育ての相談」の割合が高くなっている。男性の50代はほとんどの項目において低い割合になっているが,70歳以上は「声かけや安否確認」と「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」の割合が他の年代を大きく上回っている。また,女性の70歳以上は「声かけや安否確認」,「電球の取替えなどの軽い作業」の割合が他の年代を大きく上回っている。

図表 近所の人から協力してほしいこと【性・年代別】※複数回答

												+ 12	
		サ	声	Ĭ	買	り室	等庭	ど外	い電	子	子	そ	特
		ン	か	=	い	等内	の木	~ н	作球	یے	育	の	に
		プ	け	だ	物	のの	屋の	の時	業の	ŧ	て	他	な
		ル	や	L		家 掃	外手	同へ	取	の	の		い
		数	安			事除	の入	行通	替	預	相		
			否			ゃ	掃れ	や院	え	か	談		
			確				除や	送•	な	IJ			
			認			事	草	迎行	نخ	•			
						食事づ	取	事	の				
						<	IJ	な	軽				
全	体	2633	22. 7	3. 9	2. 5	1. 2	4. 1	2. 4	2. 4	4. 4	5. 1	0.9	63.3
男 性	計	1044	21. 9	4. 6	1.3	0.7	5. 1	2. 4	1.8	2. 3	3. 4	1.1	66. 2
<u>男性</u> 20	代	106	17. 9	6.6	1. 9	1. 9	0. 9	2. 8	0.9	4. 7	7. 5	ı	70.8
30	代	158	20.9	1.9	0.6	0.6	1.3	3. 2	_	5.7	10.1	0.6	63.9
40	代	186	18.8	3.8	0. 5	_	3. 8	2. 2	1.1	4.3	4.8	2. 7	71.0
50	代	205	16.6	1. 5	0.5	1	3. 4	1. 5	1.0	0.5	0.5	0.5	77. 6
60	代	204	22. 1	6. 4	1.0	1.0	5. 4	2. 0	2. 5	0.5	0.5	2. 0	67. 2
70 歳 以	上	175	34. 9	8.0	3. 4	0.6	13. 7	2. 9	4.6	_	-	0.6	46.3
女 性	計	1539	23. 3	3. 4	3. 2	1.5	3. 5	2. 4	2. 7	5. 9	6. 4	0.6	61.5
<u>女性</u> 20	代	185	16.8	2. 7	1.6	_	2. 2	1.6	-	5. 4	7. 0	ı	70.3
30	代	291	22. 0	2. 7	3. 1	2. 1	2. 4	3. 1	0.3	18.9	21.0	0.7	52. 2
40	代	242	16. 5	1. 2	2. 1	0.8	1. 2	1. 7	0.4	8. 7	6. 6	1. 2	67.8
50	代	277	19. 5	2. 5	1.1	1.1	2. 9	1.1	1.4	0.4	2. 5	1.1	72.6
60	代	269	26. 0	3. 7	5. 2	2. 2	5. 6	3. 0	3. 3	1.1	0.7	0.4	65. 4
70 歳 以	上	268	36. 2	7. 1	5. 2	2. 2	6. 3	3. 4	10.1	0.4	_	0.4	45.5

家族構成別にみると、「親と子の二世代」は「子どもの預かり」(7.6%)や「子 育ての相談」(8.9%)の割合が他の家族構成に比べて高い。また,「兄弟姉妹の み」は「庭木の手入れや草取り等の屋外の掃除」(8.7%)や「電球の取替えなど の軽い作業」(8.7%)が他の家族構成に比べて高くなっている。

図表 近所の人から協力してほしいこと【家族構成別】※複数回答

単位:%

	サンプル数	声かけや安否確認	ゴミだし	買い物	り等の家事室内の掃除や食事づく	等の屋外の掃除庭木の手入れや草取り	ど)の同行や送迎外出時(通院・行事な	い作業電球の取替えなどの軽	子どもの預かり	子育ての相談	その他	特にない
全体	2633	22. 7	3. 9	2. 5	1. 2	4. 1	2. 4	2. 4	4. 4	5. 1	0. 9	63.3
単身(同居人はいない)	431	23. 0	6. 0	3. 7	1. 6	4. 2	1. 6	5. 3	0.7	0.7	0.5	64. 7
夫 婦 の み	609	25. 5	5. 4	2. 3	0.8	5. 1	1. 5	1.6	0.8	1.6	0. 7	63.7
親と子の二世代	1244	20.0	2. 9	2. 3	0.9	3. 3	2. 9	1.8	7.6	8. 9	1.0	63.7
親と子と孫の三世代	204	28. 9	0. 5	0. 5	1. 5	4. 9	1. 5	0.5	4. 4	2. 9	1.5	57.4
兄弟姉妹のみ	23	17. 4	_	-	4. 3	8. 7	4. 3	8. 7	_	_	_	73.9
そ の 他	33	27. 3	3. 0	3. 0	3. 0	_	3.0	-	3.0	9.1	3.0	66.7

65 歳以上の同居人の有無別にみると,いずれも「声かけや安否確認」の割合が 最も高いものの ,「65 歳以上の同居人はいない」人は17.7%にとどまる。「75 歳 以上の人のみがいる」(32.9%),「65~74 歳の人,75 歳以上の人の両方がいる」 (32.8%)は3割を超え、「65~74歳の人のみがいる」(28.3%)よりやや高く、 後期高齢者が同居人の場合に安否確認の要望は高くなる傾向がうかがえる。一方, 「65 歳以上の同居人はいない」人は「子どもの預かり」と「子育ての相談」の割 合が高くなっている。

図表 近所の人から協力してほしいこと【65歳以上の同居人の有無別】※複数回答

単位:% 子 ど 子育 り室 等庭 ど外 い電 か LI 等内 の木 出 作球 に だ の時 ŧ T ゖ 物 のの 屋の 業の な プ ゃ 家掃 外手 同へ 取 の の い ル 安 事除 の入 行通 替 預 相 数 否 掃れ や院 え か など 除や 確 食 送• 認 迎行 ゔ 取 の な 軽 4.4 体 2633 22.7 3.9 2. 5 1. 2 4.1 2.4 2.4 5. 1 0.9 63.3 ~ 74 歳 488 28.3 5.5 3. 3 1.4 5. 1 3.3 4.7 1.6 0.4 0.8 58.8 が 歳以 407 4.9 3. 7 32.9 1.5 6.9 2.0 5.7 0.7 1.2 0.7 52.3 65~74歳の人、75歳以上 4. 2 3.4 119 32.8 5.9 8.4 3.4 3.4 0.8 0.8 1.7 50.4 <u>人 の 両 方 が い る</u> 65 歳 IJ 上 17.7 2.9 1.8 0.8 6.5 7.9 1606 2.8 2. 1 0.8 0.9 68.4 はいな

近所での助け合いの状況について、「近所の人に対して協力したこと(過去1年間)」、「近所の人から協力してほしいこと」、「近所の人に対して今後協力できること」を比較する。

まず,「近所の人に対して協力したこと(過去1年間)」と「近所の人から協力してほしいこと」を比べると,「子育ての相談」以外は「近所の人に対して協力したこと」の方が「近所の人から協力してほしいこと」の割合を上回っており,これらの項目は現状において近所での助け合いが十分になされているといえる。一方,「子育ての相談」は僅かではあるものの「近所の人から協力してほしいこと」の方が上回っており,この項目については近所での助け合いが今以上に求められていると考えられる。

次に,「近所の人から協力してほしいこと」と「近所の人に対して今後協力できること」を比べると,いずれの項目も「近所の人に対して今後協力できること」が「近所の人から協力してほしいこと」の割合を上回っており,将来,近所での助け合いはより一層充実されることが期待される。

図表 近所での助け合いの状況についての比較【全体】※いずれも複数回答

